

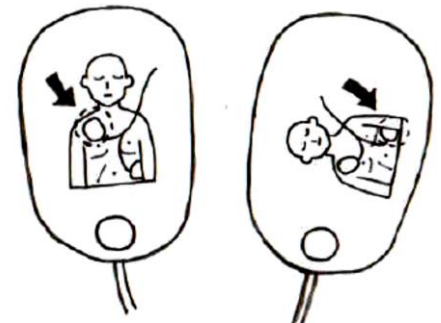
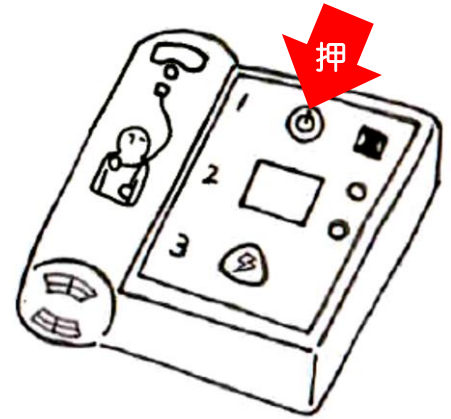
電源を入れる

7 AEDの使用

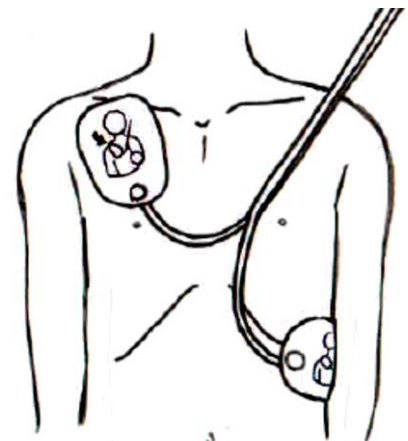
- 心肺蘇生法を行っている際にAEDが届いたらすぐにAEDを使う準備を始めます。
- AEDを使う準備をしながらも心肺蘇生をできるだけ続けてください。

AEDの準備と装着

- ①AEDを傷病者の頭の近くに置く。
 - ②AEDの電源を入れる。
 - ・ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。
 - ・電源を入れたら、それ以降は音声メッセージ等の指示に従って操作します。
 - ③電極パッドを貼る。
 - ・傷病者の胸をはだけます。
 - ・電極パッドを袋から取り出して電極パッドを保護シートからはがし、電極パッドや袋に描かれているイラストに従って粘着面を傷病者の肌に直接貼り付けます。
- ※未就学児用パッドが備わっている場合は未就学児に対して使ってください。小学生以上は小学生～大人用パッドを使用してください。



2枚に分かれている電極パッド



電極パッドを貼り付ける位置

AEDの機種	傷病者の区分	
	小学生以上	未就学児
電極パッドで使い分ける機種(※)	小学生～大人用電極パッド	未就学児用電極パッド
本体のスイッチで切り替える機種	通常モード	未就学児モード

※AED本体に未就学児用の電極パッドが入っていない場合には、入っている電極パッドを使用する。

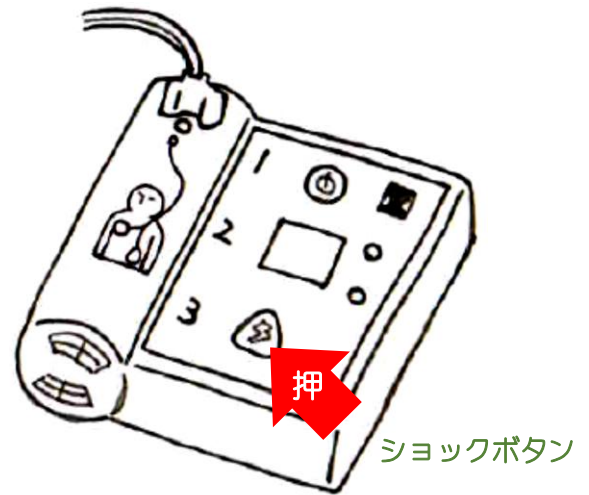
心電図の解析

- 電極パッドを貼ると“体から離れて下さい”などの音声メッセージが流れ、心電図の解析を始めます。このとき、「みなさん、離れて！！」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認します。
- AEDは、電気ショックを行う必要があると解析した場合には“ショックが必要です”，必要が無いと解析した場合には“ショックは不要です”などの音声メッセージを流します。
- ”ショックは不要です”といった音声メッセージの場合は、直ちに胸骨圧迫を再開します。



電気ショック

- AEDが、電気ショックが必要と判断した場合は、「ショックが必要です」といった音声メッセージとともに自動的に充電を始めます。
- 充電が完了すると、「ショックボタンを押して下さい」といった電気ショックを促す音声メッセージが流れます。
- AEDの操作者は、「ショックを行います。みなさん離れて!!」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認して、ショックボタンを押します。



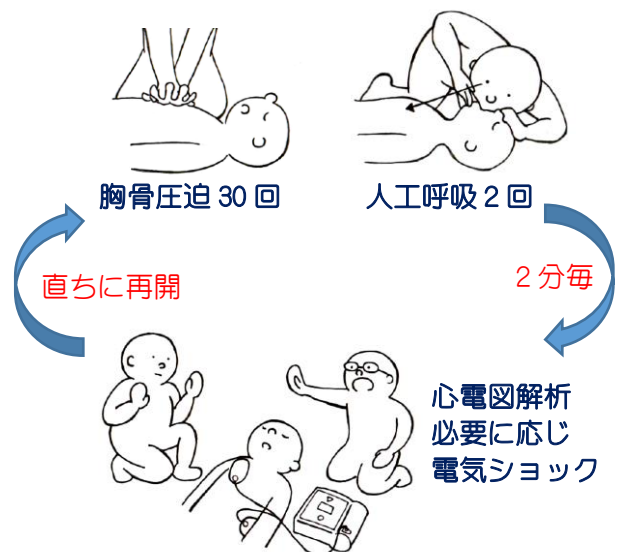
心肺蘇生の再開

- 電気ショックを行ったら、ただちに胸骨圧迫を再開します。
- ※AEDを使用する場合でも、AEDによる心電図の解析や電気ショックなど、やむを得ない場合を除いて、胸骨圧迫の中断をできるだけ短くすることが大切です。



8 AEDの使用と心肺蘇生の継続

- AEDは2分おきに自動的に心電図解析を行います。音声メッセージに従って傷病者から手を離し、周りの人も傷病者から離れます。
- 以後は、心肺蘇生とAEDの使用の手順を救急隊員と交代するまで繰り返します。



☆心肺蘇生を中止するときは

①救急隊員と交代したとき

救急隊が見えたらすぐに救命処置をやめるのではなく、心肺蘇生を中断することなく、救急隊員に交代するまで続けます。その後救急隊員からの質問に答えて下さい。

- #### ②傷病者に普段どおりの呼吸が戻り、呼びかけへの反応や目的のある仕草が認められたとき
- 心肺蘇生をいったん中止し、慎重に傷病者を観察しながら救急隊を待ちます。この場合でも、AEDの電極パッドははがさず、電源も入れたままにしておきます。

